

民主党ヘディング

民主党神戸市会議員団 川原田弘子ニュース
神戸市中央区加納町...

第1回定例市会が終了し、問題となっている敬老パスに関連し、具体的な激変緩和の要綱を記した「附帯決議」を付して、予算案が承認されました。今年度予算案では、市政の進捗評価でC評価を受けた、住宅耐震化の促進、地球温暖化防止の2点に力を入れた予算となっています。

～川原田弘子事務所連絡先～
〒655-0034 神戸市垂水区仲田3-1-8-202
TEL&FAX 078-709-8998 携帯 090-1956-5565
e-mail: happy@hiroko-club.com URL : <http://www.hiroko-club.com>



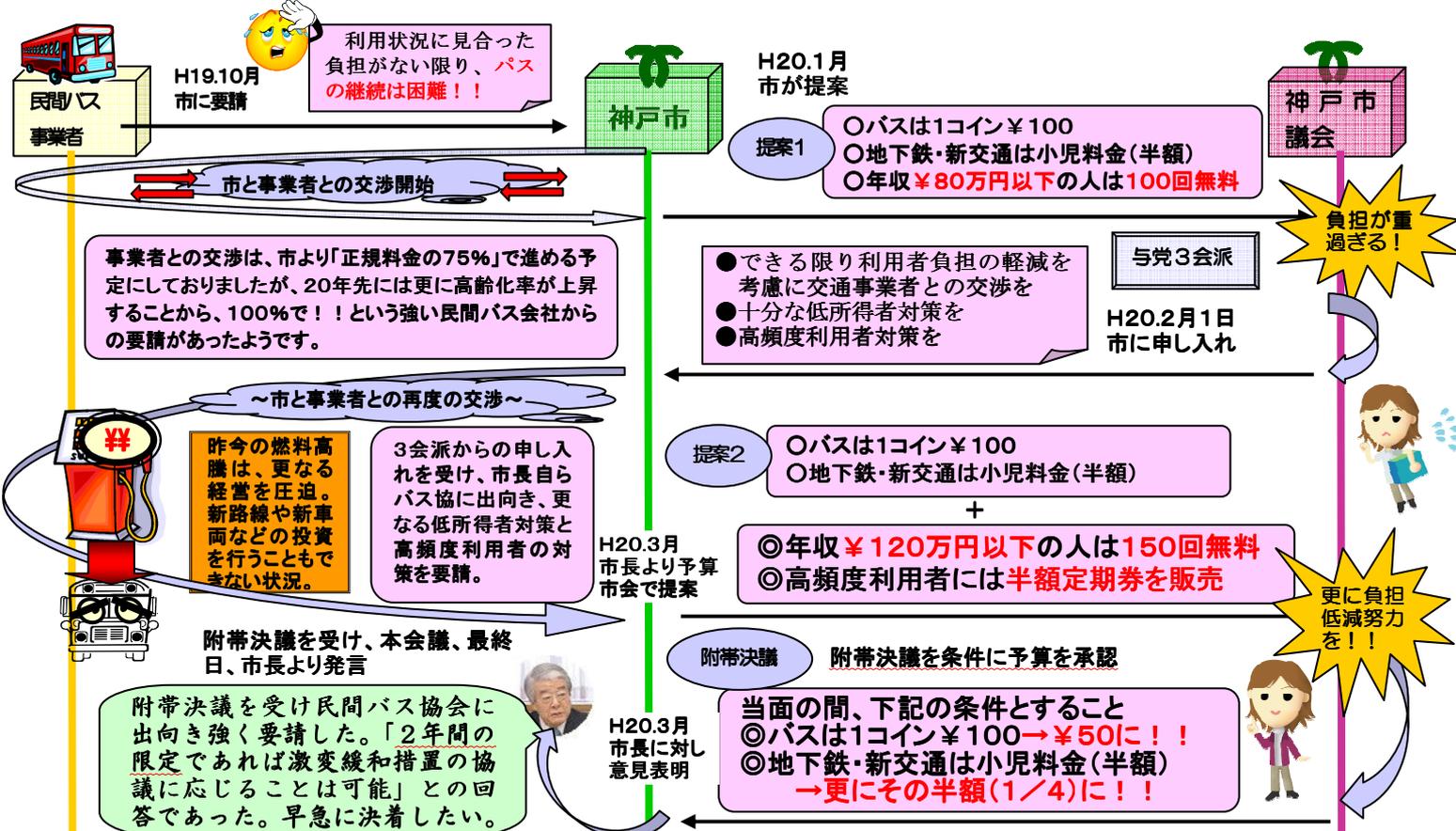
ひたすら4月から、いよいよ始まる。メ
よ保健診に怯えるワタシ。メ
あなだも??



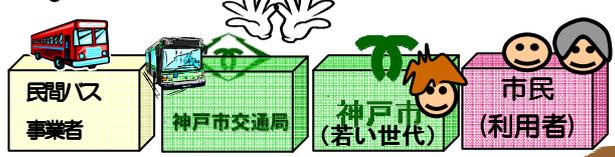
♪スミシの花～咲く頃～初めて君を知りぬ♪

～敬老パス激変緩和策を附帯決議に～

敬老パスに関連したこれまでの経緯を下記に示します。私たちは、座談会や、また、民主党会派で行ったアンケート結果を議会で見聞させるため、①できる限り負担減が必要、②低所得者対策、③よく乗る人（高頻度利用者）の負担減、④地域間格差の解消などを求めましたが、厳しい市の財政状況と、昨今の燃料高騰に伴う民間バスの経営環境の悪化などを背景にこれ以上の枠組みの変更は困難であり、制度の維持が最も大切であると判断し、当面市長提案の半額（即ち1/4）となることを要請、これを受け、市長判断により激変緩和の期間（おそらく2年間）が取られることになりました。



敬老優待乗車制度



フリーパスが残せなかったことは、皆さん、ごめんなさい。現提案でも、事業者には25%の負担(激変緩和期間は43%)、高齢化が進むと負担は更に重くなります。民間バス協会は附帯決議を受けた市長からの要請にも、当初応じられない、と難航し、何とか2年間の期限付きであれば今後の交渉に応じてほしい、という流れであったようです。民間事業者、市交通局、神戸市(若い世代を含む市民)、市民(利用者)みんなで考え、制度を維持・継続していかなければなりません。

- ところで、どう変わるの?? (詳細は市の広報で)
- 制度が導入されるのは、2008年10月からです。
 - 現在の敬老パスがICカードのPitapa式に。乗る前にお金をカードにチャージして使います。現在のICOCAカードのようになります。
 - バスは1回¥100(料金によらず、1乗車につき) 地下鉄は小児料金(半額)
(激変緩和の期間はその1/2に)
 - 年収¥120万円以下の方は、バス150回分相当のチケットに換券できます。(※激変緩和の対象外)
 - 通勤定期を半額で購入できます。(※激変緩和の対象外)